

'07のべおか

# 第九

のべおか第九だより (第407号)

2007年12月8日 (土)

○発行 のべおか「第九」を歌う会

○事務局 (延岡総合文化センター内)

〒882-0852 延岡市東浜砂町611-2

電話 (0982)22-1855

<http://www.horita.jp/dai-9.html>

---- 出席カードには会員番号を。練習中のケイタイ着信音はオフに。----

本日の内容	前回の状況	会員数	出席数	出席率	自己採点
練習は4つに分けて行います。 ※ページ数はKAWAIの楽譜で表示↓ ◎ A (237~330小節) p.9~18 ◎ B (411~654小節) p.21~35 ◎ C (655~762小節) p.35~47 ◎ D (795~920小節) p.50~63 12月15日まであと7日	◆ ソプラノ	26人	19人	73.1%	65.0点
	♥ アルト	57人	50人	87.8%	67.6点
	♣ テノール	22人	20人	91.0%	69.9点
	♠ バス	26人	18人	69.2%	71.7点
	● 合計	131人	107人	81.7%	68.2点

## @小泉和裕先生の指導

(12月1日: 合唱幻想曲)

その付近の注意…●総合・◆ソプラノ・♥アルト・♣テノール・♠バス

その部分の注意…○総合・◇ソプラノ・♡アルト・♠テノール・♠バス

★…お話

(ドイツ語ウムラウトの発音“ö”をカタカナで“ォ”と表記してあります。また、ほかの部分やパートの注意でも全体に関連がありますので、読み飛ばさないようにお願いします。)

- ★ 443 【お話し】九響とずっとご一緒していましたが、私、こちらに来る機会がありませんでしたが、ここはずっと熱心だという事は聞いておりました。今回、決まりましてこのように皆さんとお会いする事を楽しみにしておりました。よろしくお祈りします。2曲やるというのも僕も初めてです。「第九」というのは普通1曲しかしませんけどね。合唱幻想曲をやる機会というのも久しぶりです。



- 444 【Gro - Bes,~】明るく、元気よく。みなさん遅いです。どんどん前に進まなきゃいけない。何となく付いて行こうという引きずっている感じがある。もっとリズムカルに。……その中で急がないようにね。  
……もう一回確認して。まだ弱い! 聞こえてきたり聞こえてこなかったり。もっとはっきり言葉がはいったほうがいいんじゃないかな。音が弱くなっている。もっと全部の音が言葉と一緒に!

- 456 【Kunst. Wenn sich〜】 まだ全体にバラバラしてる。頭が動く。つまり楽譜を見ているからです。本番は暗譜でしょ?…暗譜! 指揮を見ていないと集中ができないですね。……このあともっと盛り上がらないと。弱い!



- 456 【Kunst. Wenn sich】 このフェルマータはもっと強くないと。息はつぐけども気分的には繋がってなければいけないですね。盛り上がりがないといけない。フェルマータが絶対に弱くならないようにね。
- 466 【See - len,】 最後はpになってますけど、それ(今の歌い方)でいいですか? p。大事ですよ。この前までfでやって最後はp。……急ぐ、急ぐ! 待ったほうがいいから。急がないように。速い! もっとみんながサッと揃えないと。



- 472 【Ga - ben〜】 もっとポイントがあった歌い方で、“Ga”“ben”“schö”“ner”…。重くならないように。
- 486 【Kunst, froh die】 “Kunst,”はもう少し伸ばさないと。
- ◆ 488 【Ga - ben〜】 ソプラノはもう少し頑張る必要がね…。みなさんとのバランスがもうちょっとくっついたほうがいい。こういう音楽は構築してある上の音がずっとあるんですけどね、バランスがあるんです。ちょっとこっち(アルト・テノール・バス)が強かったりします。ソプラノに対するバランスがうまくいってればいいですけどね。みんなが頑張ろうとなるから、やっぱりソプラノを聞きながら合わさないと、自分のパートだけで歌っているとばらばらなんですね。ソプラノはちょっと(“-ben”)頑張れば。ラインがもうちょっと出れば…。



- 490 【Kunst, froh die〜】 テンポかわったとき、今ぐらいのテンポですけども、はっきり指揮を見てください。だいたいリズム的に弱いところがあります。リズムの頭を感じながら流れて行かなければいけない。テンポ自体がベートーベンの命ですからね。それがみんな一緒になったら良い合

唱団になります。……もっと変わり身がほしいね。ここまでのcresc.(482～)はもちろん欲しいんですよ。ただここで変わらないと!ね。

- 530 【Gunst.】 “Gunst.”はちゃんと1小節間のばしましょう。弱くならない。長い音は強いまま伸びず。
- 547 【Nehmt die～】 cresc.あるんですよ。べたーっとしたままで全体のcresc.が出てこないからね、音楽が盛り上がってこない。音楽に変化があるというかね、そういった音楽の創りがはっきりしていない。それはできるはずですよ。



- 556 【Wenn sich～】 そこ、言葉がモヤけるね。リズムといっしょに出るようによく勉強してください。はっきりマルカートで言わなければいけない。……もうちょっと思いっきり行ってごらん下さい! 何いってるのかわからない? もっと強くダイナミックで。オケに負けますよ。
- ★ 【お話し】 だいぶ音楽に変化が出てきて、いろいろあるというのがわかりましたね。こういうのはダイナミックな変化がしっかりしていないと。難しくはないと思いますよ。この音楽を生かすには変化をもっともたさないと。そんなことは技術を持っているプロはできるから素晴らしいんです。同じ簡単な曲をやっても何が素晴らしいかという変化を持たせられる、そういうことなんです。できるだけみなさんもそういうことに近づくようにまずダイナミックをしっかり持たせるように。

◆もう12月! あと2週間で本番なんて信じられない思いです。今日の小泉先生の注意点を覚え込んで本番に備えたいと思います。(セ口弾きのゴーシュ)  
◆つかれたー!! でもとても充実した練習で、本番に向けて気合いが入りました。楽しく歌えるよう、頑張りたいと思います。  
◆最高に気持ちよい練習でした。  
◆輪をみださないように頑張ります。よろしくお願ひします。  
◆イメージをどこまで再現できるか挑戦です。  
◆風邪をひかないよう極力気をつけています。みなさんも健康維持に努めましょ。 (m♪)  
◆ついに本番前に小泉先生んお指導。楽しみです。90%近くで歌いたいです…先生のご指導、部分的に入りましたが、フレーズを大

切にそして明確にそして観客に感動を与えるような。本番までに大きなひとつになりますように。  
◆今年も残り少なくなりました。おかげさまで一日一日前に向かって進めた一年でした。みなさまに感謝です。ありがとうございます。  
◆初めての小泉先生の指導、素晴らしかったし、とてもいい勉強になりました。(M.Yoshimoto)  
♥小泉先生の御指導、とても良かったです。本番に向かって頑張ります。  
♥今年の第九を心待ちにしていた母(96)がとうとうお星様になりました。皆様から心暖まるお心遣い、そして遠く宮崎市までご会葬いただきありがとうございます。(Dynamite Lady)

♥ヒザ痛のため、当日はどうか? チョップリ不安です～。小泉先生の練習、とても参考になりました。  
♥出来なかったけどすごく熱くなり満足感が100%のようです。自分の出来ていない所がよ～くわかりました。(初心者)  
♥長らく休んでおりました。実は父が入院しまして手術の予定です。日程が決まっています。当日が心配ですが…練習だけはがんばって…うまく手術日と重ならないように…  
♥新しい気持ちで新しい第九になりそうです。  
♥小泉先生のご指導に圧倒されて声がやっとかっとなりました。少し休憩したいです。(アッチャン)  
♥体調を気をつけて頑張りますよ。

♥小泉先生の指導はとてもよかったです。勉強になりました。風邪を引かないよう頑張ります。

♥いよいよ本番間近ですね。小泉先生の御指導、クールな中に熱い情熱を持っていらっしゃるようで。まだ自分が精一杯なので人を感動させるまでは…程遠い。気持ちにゆとりが出るためにもしっかり練習!!

♥とても充実したレッスンでした。本番が楽しみです。

♥音をつなぐとはどういうことか、をガンと教えられました。小泉先生の指揮で歌いたくて今年久しぶりに参加しました。(本番まで体調をととのえてがんばります。)

♥今年初めての第九参加。合唱団にも特に所属していませんが、指揮者の方でこんなに曲がか

わるのかと、とっても楽しかったです。

♥やはり素晴らしい御指導で、生き甲斐を感じるところです。

♥小泉先生に初めてお会いしました。先生の指揮をしっかり見たいと思います。(Kiri yan)

♥毎日仕事の合間に練習をがんばっています。今日は皆さんと歌っているのがとても楽しく感じました。がんばります。

♥疲れました。一日立ってましたので。もう少し早い時期に指導して欲しかったです。

♥とてもわかりやすいご指導で良かったです。本番までしっかり練習して来ます。(ヨッチン)

♥小泉先生の一回きりの貴重な練習、幸せです。少しでも先生の歌にそろいますように。(うた子)

♥小泉先生の指導はとても気合いが入りました。本番までこの気持ちを忘れないようにしなくてははいけないと思います。

♥第九の合唱の奥深さを知らされました。とても緊張しました。でも最後まで頑張ります。友人達にもぜひ聞いてほしいと招待しています。

♥発表間近ですね。がんばります。(ウエンディ)

♥小泉先生のご指導をうけて本番がんばります。

♥がんばります。

♥感動しました。(Tony)

♥愛子先生、お寂しい中をおいでくださり、ありがとうございます。指揮者が変わると変化があり、ダイナミックにと…当日が楽しみです。(ドリーム)

## @小泉和裕先生の指導 (12月1日：第九)

その付近の注意…●総合・◆ソプラノ・♥アルト・♣テノール・♠バス

その部分の注意…○総合・◇ソプラノ・♡アルト・♠テノール・♠バス

★…お話

(ドイツ語ウムラウトの発音“ö”をカタカナで“ォ”と表記してあります。また、ほかの部分やパートの注意でも全体に関連がありますので、読み飛ばさないようにお願いします。)

○ 238 【Freu-de!】 暗くならないように、明るめに発音。余裕を持った感じ、遅くじゃないんだな。なんか愛想ないんだな…“Freu-de!” (笑)。なにか余裕も余韻もない。

● 257 【Dei-ne Zau-ber~】 なんで急ぐの!? ……急ぐ!?急ぐ!?



○ 260 【streng ge-teilt; al-】 “al-”揃わない!? 急ぐから。ひとつひとつもう少ししていねいに。エスプレッシボ。「Espressivo」というのは皆さんわかるよね。気持ちを入れていったほうが音はねばりますから。

- 288 【Er-den rund! Und〜】 つないで、つないで。気持ちが出るようにね。声だけにならないように。そういう感じがちょっとみなさんにはあります。ここは堅くなって声をださなきゃいけないところじゃなくて、気持ちが入ったらもっとテヌートに音が出てきます。音が生きてきますからね。
- 313 【Küs-se gab sie】 “Küs-se gab sie”の動きがもっと波のように。ソプラノはよく聞こえるんだけど、ソプラノだけが頑張っているようなところがある。もっと音の波が出てこない。なんとなくベタベタした感じがする。



- 321 【und der〜】 “und der”、“Che-rub”もっと長く歌わないと。物理的に堅いです。
- 324 【Gott,〜】 もっと“Gott,”にはいるところが揃うはずです。
- 328 【Gott,】 “Go-----tt,”これくらいですからね（笑）。長過ぎますか？そこはカンニングブレスをしたらいいです。誰も一気に…とは言ってません（笑）。息継ぎながら伸ばしてくださいよ。



- 411 【Lau-fet,〜】 …頼りないんですよね、言い方わるけど（笑）。もうちょっとリズムに乗ってるというか、わくわくするような感じが欲しいんですよね。音楽をはき違えているように思います。もっと音楽の中味がもうちょっと欲しいです。
- 543 【Freu-de,〜】 どうやって歌うんですか？言葉は非常にハッキリ。それで余韻はすべて残る。……“Freu-de, schö-ner…”でもうちょっと歌ってる喜びが出るように。……なにか急ぎ気味になりますよね。なんかもうちょっと溜めというか、溜めて出す。奥深みがある感じで。
- 566 【teilt; al-〜】 音楽の構成としては“al---le Men-schen”に入るところでもう一段、大きくなって欲しいですね。
- 595 【Seid um-】 出だし、(オーケストラが)ズシンときてから“ん…”としっかり守ってから。待ちきれない人がいると思うからね、オケが入ってそういうふうな呼吸になってくるともう少し保っていかねばいけないですから、皆さんで合わせて“Seid…”とくるようにね。



- 596 【schlun-gen, Mil】 スタッカートが書いてある音符も余韻は残して、切ってしまうないように切ってしまうように歌ってください。“シュルラ〜ングェ〜ン”のほうが僕はいいと思う。
- 599 【Die-sen〜】 “…Die-sen Kuß der gan-zen Welt!”つながらないと。確かに息をついでらっしゃる方がいるけど、全体的にはつながらないと。ひとつひとつの音は皆さんが合わせてやってらっしゃいますけれども、全体の音楽のフレーズっていいですけどねそれを、ひとつひとつ頑張ってるのはわかるけど音楽がもうちょっと出てこないといけない。
- 602 【Welt!】 男性の人は頑張ってると思いますけど、この次がソプラノにつながるように歌わないといけないと思いますね。伸ばしている人もいますが、本当はみんなが伸ばして(つなげ)ないといけない。



- 603 【Seid um〜】 音的にもっと柔らかく全体に。頑張りすぎている。男性はしっかりと声がでないから一生懸命にというところはあるんだけど、それはそれでいいんだけど、女性の方々はもう少し音が伸び伸びしてないといけない。それでいて正確にリズム、テンポが来るように。しかし、もうちょっとここは女性は歌わないと。
- 611 【Brü-der!】 “Brü-der!”ははっきり。これははっきりいきましょう。
- 615 【muß ein〜】 “…muß ein lie-ber Va-ter woh-nen.”ここもライン。絶対切れないように。
- 618 【woh-nen.】 “…woh-nen.”は言い切ったほうがいいと思いますよ。“父なる主がいる”という意味があると思いますからね。はっきり意味があるようにしてください。弱くなるといけない。



- 619 【Brü-der!〜】 息継ぎが目立ちすぎるんですね。みなさんおそらく勉強されたと思うんですけど、ポツ切れになる。息を継ぐのがよくわかるんですね? 僕からみればカンニングプレスのほう

がいいんだな。ブレスがわからないほうがいい。ずっとラインが出るほうがいい。ここの音楽はどう考えてもそれしか考えられない。どのパートも全部、つなげてつなげてつなげて。意味合いが強いので最後までフレーズはつながっていないと。声を出すだけではいけない。音楽が現れてこない。音楽の緊張がないと。

○ 619 【Brü-der!】 はっきり! 印象的に。ちょっとおとなしいですね、どうしていいのかわからないところがあると思うけど、僕としては堂々と出してもらっているものを押さえるほうがコントロールがしやすい。そして声をもっと艶っぽく明るく訴えるような。

★ 619 【お話し】 遠慮はしないでくださいね、絶対ね。初めてお会いしますが、僕は何十年か前にここ延岡に来ています。合唱はやっていませんけれども延岡はどう変わっているか楽しみにしてたんです。だから遠慮しないでください。僕としては初めてではありませんから、初めてでないようにお願いします(笑)。なんか遠慮がちですよ。…それからあまり細かい事は言いませんけれども、音楽で一番大切なことはフレーズ。音楽をずっとつなげていくという緊張感。毎日、声を出すこととかブレスをどうするかとかいろいろ練習されたと思いますけれども、最終的に指揮者がまとめるのは音楽なんですよ。音楽をどう構成してどのようにしてベートーベンの音楽を出し切るかということです。ぶつぶつ切られてたんでは音楽にならない。(演奏中は)弦でもなんでもビブラートきかせて伸ばしながら切れないように演奏しなければならないんですね。それと同じ事です。合唱団としてそのようなことをカバーしてカバーして。

○ 626 【woh-nen.】 “woh-nen.”まで強い和音で。弱くならないように。



● 631 【Ihr\_ stürzt~】 違う! ここの音楽はね、声を出すというところではないと思います。もっとそっと喋っているという感じ。cresc.もありますけれど、もう少しミステリックにしないと。書いてある通りやってるんだけれど、もっと神妙なところです。……テンポ、テンポ! 見てる??  
“1,2,3…“stürzt”…nie-der,”

○ 631 【Ihr\_ stürzt】 “Ihr\_”このバランスがものすごく大切なんです。膨らませて、弱くなつて“stürzt…”。ここは棒を見ないといけませんよ、テンポでいきますからね。……“stürzt”の“シュ…”もう少し神秘的に。絶対声を出さない。喋ってください。“Ihr\_”切れていいんです。“stürzt”。

○ 632 【nie-der.】 ちょっとここ(“nie-der.”の間)だけは切っていていいです。喋ってください。これぐらいのpの和音です。ここは音楽にならない。



- 638 【Welt?】 “Welt?”ははっきり来ないといけない。目が覚めるぐらいにね。なんとなしにモヤっとしてますよ。ffしっかり。
- 642 【zelt!】 弱いな、ここ弱いな! 次に行こうとする緊張が出てこないから。「なんか出てくるぞ?!」という感じがあるように。
- 650 【～】 もっと弱い方がいいんですけど。ちょっと生っぽいでしょ。もっと天国から聞こえてくるようなホワツとした音楽、もっと柔らかい、それで声(子音)がはっきり聞こえればいい。……これでこれにオケが入ってくると悪くはなくなると思います(笑)。オケは音がずっと伸びていきますから。自分たちだけでは音程はなかなかわかりませんからオケの音を聞きながらやられたらいいと思います。



- ♠ 730 【Ihr stürzt～】 ちょっと男性、急ぎますね。全体的に前で発してしまいますね。フーガのところもそうだけど、ここも合っていないと思いますから、
- ♣ 734 【Ah--nest】 “Ah-”の音はもう少し長いほうがいい。
- 745 【zelt! Brü】 “Brü-der!”が欲しいな。変化が無い!“Ihr stürzt …”と始まって登ってきて、最初に皆さんで言う“Brü-der!”が揃ってない。ドン! と。急ぐんじゃないんだけどね。次の“Brü-der!”(748)は堂々と。



……“Brü-der!”が弱い!! 長くして堂々とやってください。

- 749 【ü】 ここのp、もっと変化をつけて。優しく、優しく。まだ頑張りすぎます。ここまでフーガがあって、骨っぽいしっかりしたところもある。だけどこの部分はホッとするような部分ですから。
- ★ 749 【お話し】 わかってくださってるかしら。一所懸命言ってるんだけど(笑)。僕はどこの合唱団に行っても理想を言うんですね。あまり合唱団に迎合したって意味ないわけです。変化をつけるだとか音色を変えるとかピアノの部分の美しさだとか、どこに行ってもプロなら同じ事ですからね。皆良いものに近づけようとやらないと面白くないでしょ。
- 758 【ein\_～】 美しい所でしょ、ここは。若干低くなってきていますけどね。愛情深くというか、こんなに美しい音の変わり目というのはない。



- 806 【Al-le〜】 “al-le…”“al-le…”“al-le…”しか聞こえない? “Al-le Men-schen, al-le Men-schen, al-le Men-schen,”ってつながって聞こえないといけない。
- 810 【Men-schen wer-den〜】 “Men”でdim.。“-schen”でp。“wer-”からcresc. これがありますけれども、ここは切れない方がいい。皆さんの“Men-schen 切 wer-den”となるから、“wer-”がおかしい。“wer-den”はゆっくりcresc.ね。もっとプロっぽく大人っぽく。そして“Brü-der”をハッキリ!“wo dein”にはいるまで息継ぎしない方がいい。これが全部つながる!! これが絶対大切。……だいぶできました。がんばってもらってる人たち(ソプラノ)もいるけど、支える人たち(ソプラノ以外)もみんなそういう感じがほしいですね。支えて支えて支えて、切れないように切れないようにしていただきたいですね。
- 812 【sanf-ter】 ソプラノがんばっていただいているけど、全体にピッタリ、一緒という感じが欲しい。私はこっち、私はこっちという感じがあってしょうがない。もうちょっと合唱団が一つになっているという感じがほしい。



- 832 【Men-schen!】 “Men”に入ったらもっと弱く消え入ったほうがいいです。“-schen!”はソロが入るから短くていいです。
- 904 【Freu-de,〜】 “Freu-de,…Freu-de schö-ner…”の“Freu-de”が乗り遅れる。タイミングがちょっと遅れている。急ぐのではなくてオンザビートで。
- 915 【Toch-〜】 “Toch--ter aus”と“ E-ly-si-um!”の変わり目をきれいに。



- 918 【Freu-de, schö--ner〜】 “Freu-de, schö--ner”で息ついていいですから、はっきり。“Göt-ter-fun-ken! Göt-ter-”でここも切る。そして“fun-ken!”。ここは速くていいです。
- ★ 【お話】 観客が「ああ、いい合唱で気持ちよかった」というね…自分たちが満足するんだったら僕はあんまり良くないと思う。聴いている人が聴いてなにかハッピーにならなきゃ意味ないんですよ。自分たちだけが苦労したけど良かったというよりも（笑）聴きにきた人に感動を与えなきゃいけない。それを指揮者任せ、オケに任せるじゃ困る。人数少ないし、リーダー的な人の声も僕には聞こえない。支える人がちょっと弱いというのも全体に影響しています。男性も頑張らないと、あと2週間ぐらいだからしんどいと思いますよ。…だから、もうちょっとなんか出てくるもの…そういうものがあつたほうがいいんじゃないかなと思います。…難しい事を言

いました。変化、ニュアンスをつけるとか。頑張りすぎて声が固い。もっと歌って音に余裕を持たせながらというのが欲しい。なにか精一杯、一生懸命そういう…お客さんには「がんばってんだな」というようなものではなくて、「本当に良かった」と聴いてもらいたい部分が多いんですから、理想を追求してもらいたいと僕は思いますね。そのために僕は来たと思います。



……たくさんは出来なかったけれども…信用してますから…信頼か？（笑）次にオーケストラがはいったときには上手くなるように思います。違った雰囲気がお客がはいったらありましてねパッとできるところもあると思いますね。それでは良いものをつくっていただきたいと思います。本日はありがとうございました。（拍手）

♣小泉先生の指導、また違った意味で勉強になりました。（アリ）

♣とうとう12月。14回目の12月となりました。

♣お疲れさまでした。がんばって歌いましたが、なかなか先生の言われるように歌えなくて残念。でも今後は言われたポイントに気をつけて歌います。

♣皆さん風邪をひかぬよう御自愛ください。小泉先生、全体が音楽になるよう…考えてみます。（ヒロ一）

♣小泉先生の練習、オーラが…。もっと早く練習ができていればもっともっと気合いが入ったかも。素晴らしい練習でした。本番またしっかりやるぞ!!

♣早く指導してほしいかった。

♣ウィーンめざしてがんばりましょう。（ねこふんじゃった）

♣ご指導ありがとうございました。（す）

♣小泉先生の指導、緊張しましたが、とてもためになる楽しい練習ができました。当日は聴いてくださる方の心に響く歌を何とか歌いたいと強く思いました。皆さんと声も心も合わせるべくがんばります。

♣素晴らしい指導をしていただきました。有り難うございました。（by KT）

♣本番に向けて律していきます。

♣気分が高なった。

♣“喜びは創りだすもの”との観点から初参加した。以来、休むことなく続け、その日が間近に迫った。今は亡き妻に捧げる思いで、皆様と共に力いっぱい歌います。（Ryo）

♣熱心なお誘いの葉書にほだされて遅く入りましたが、後半もやは

り練習日に都合良く出られなくて皆さんに申し訳ないと思いつけてとうとう今日になってしまいました。やはり例年は無理だろうなあと思っています。（- TA -）

♠音楽のつくり方、考え方がよくわかりました。心を込めて歌いたいと思います。（HK）

♠指揮の先生はさすがですね。

♠小泉先生のおっしゃるとおり。見落としていたところがたくさんありました。（がみchan）

♠今日はいつもと違う雰囲気を感じ、本番が近づいているのを感じた。さらに練習をします。

♠12月に入りましたね。いよいよです。愛子先生も登場。よかったです。うちの会社や知り合いも来てくれるので、聴衆の皆様にも感動してもらえるようにもう一度見直して当日にむかうぞ!!（マッチャン）

## ●編集後記

次回は**12月14日**（金）19:00～21:30

前回の小泉先生の御指導を掲載しました。指導からほぼ1週間で今日の練習…少々忙しかったです。あとはこれを各自モノにして本番に臨んでいただくよう、お願いいたします。

「全部の音が言葉と一緒に!」「頭が動く。つまり楽譜を見ているからです。…暗譜! 指揮を見ていないと」「ひとつひとつ頑張ってるのはわかるけど音楽がもうちょっと出てこないといけない。」「ブレスがわからないほうがいい。ずっとラインが出るほうがいい。どのパートも全部、声を出すだけではいけない。音楽が現れてこないと。」「自分たちだけが苦労したけど良かったというよりも聴きにきた人に感動を与えなきゃいけない。それを指揮者任せ、オケに任せるじゃ困る。」再確認を! [【munenori@horita.jp】](mailto:munenori@horita.jp)